

2年生 美術科の学習内容

1 美術科の学習のねらい

- ・授業を通して、進んで美術を愛好する気持ちを培い、心豊かな生活を創る気持ちを養う。
- ・感じたことや考えたことをもとに、表現する技能を身につけ、創意工夫して表現する能力を伸ばす。
- ・美術文化に対する関心を高め、よさや美しさを味わう能力を高める。

2 評価の方法

- (1) 美術への関心・意欲・態度
授業の準備・かたづけ 学習に対する態度・集中力
忘れ物・提出物の状況など
- (2) 発想・構想の能力
アイデアスケッチ、下絵など独自に工夫したこと
- (3) 創造的な技能
材料・用具の扱い方 技法を生かした表現方法など
- (4) 鑑賞の能力
ワークシート・自己評価表の記入内容 発表内容など

※美術科は定期テストを実施していません。授業への取り組みが評価の重要なポイントになります。

3 学習内容

	領域	題材名	題材のねらいと学習の内容 {共通事項} との関連	評価の観点(規準)
1 学 期	鑑賞	「ゴッホと日本」 美術作品を鑑賞しよう	・作品を比較鑑賞し、それぞれの表現方法の特徴や違い、作者の意図などを考えながら、鑑賞の楽しさを味わい 日本と西洋の美術のよさやし方の違いについて興味・関心をもつ。	○日本と西洋の美術のよさや表し方の違いについて興味・関心を持っている。
	彫刻	「人の形に込めたもの」 「空間を感じて」	ロダン、ジャコモッティ、シーガルの作品に触れ作品に込められた思いを感じ取る。 彫刻が作り出す空間に関心を持ち、針金材料を生かした立体を制作する。 人の動作を意識して、人の形の美しさ、動きを表す。	○彫刻や立体作品が作り出す空間に着目して鑑賞している。 ○彫刻が作り出す空間に関心をもつてスケッチや心材が作成でき、対象の構造をもとに美しい空間を発想しポーズを構想できる。 ○構想に沿ってデッサンし、動きのある彫刻を作成している。 ○友達の作品のよさについて鑑賞し、作者が作品に込めた思いや表現の工夫を感じ取っている。
11 時 間				

<p>2 学 期 15 時 間</p>	<p>鑑賞 絵画</p>	<p>「空想からの表現」 「心の世界を描こう」</p>	<p>マグリッド作品を鑑賞 作者の思いを感じ取る。 空想の世界に興味をもち表したい 世界に合った点描表現を工夫して 表現する</p>	<p>○マグリッドの特徴を理解し、そのよさについて鑑賞し、作者が作品に込めた思いや表現の工夫を感じ取っている。 ○空想の世界を思い描くことに関心を持ち、空想絵画の表現の特徴を生かして発想し構想している。 ○点描画の表現意図に合うように、遠近法、光の方向や陰影、用具の活用などを工夫して表現している。 ○友達の作品のよさについて鑑賞し、作者が作品に込めた思いや表現の工夫を感じ取っている。</p>
<p>3 学 期 9 時 間</p>	<p>工芸</p>	<p>「人がつくる、技を極める」 [木でつくる工芸]</p>	<p>我が国の伝統工芸品のよさや美しさに関心を持ち、用の美について学習する。 使用する目的を考えて素材のよさを生かした作品を制作する。</p>	<p>○伝統工芸品のよさや美しさに関心を持ち、工芸品のもつ素材を生かした美しさやよさを感じ取っている。 ○使用するという目的を理解し漆塗りの効果を生かすデザインを構想している。 ○木材の性質について理解し、使い方を考えて工具を安全に効果的に使用し粘り強く製作に取り組んでいる。 ○友達の作品のよさについて鑑賞し、作者が作品に込めた思いや表現の工夫を感じ取っている。</p>